

編集後記

早いもので、新年が改まり、もう2カ月が経とうとしております。暦の上では如月。節分、立春と、季節の変わりを刻んでいます。日本海側を中心に例年にない豪雪の便りを耳にする今日この頃です。この豪雪、昨年度の重なる台風や大雨被害に見舞われた地域、新潟中越地震の被災地にも、容赦なく降り続けているようです。

このような厳しい自然環境に立ち向かう人々の手助けになる手段の一つが、申すまでもなく機械や装置だと思います。今月号の特集テーマである「建設ロボット」や、「IT」もこの手助けとなるもので大いに期待されているところです。

ロボットに関する最近の話題として、日本の民謡を踊るロボットの出現と、映画の「アイ・ロボット」があります。

「ロボット」という言葉は、チェコのカレル・チャペックが1920年の戯曲の中ではじめて使ったもので、チェコ語で「強制労働」や「奴隷労働」を意味するとのこと。このなかでロボットは、労働者階級の位置づけで、人間の代わりに労働する

奉仕者であるとしています。このようなことが欧米のロボット観に影響を与えて、欧米人の多くがロボットとは、人間の労働を奪うものであるとして、どこか敵対的な見方をしているとされています。

しかし、日本人はロボットにこうした思いを抱いていない。むしろ民謡を踊るロボットのような、人と友好関係を図るものとしてされてきました。これらが欧米と日本のロボット好きとの違いになっているようです。

さて、この「ロボット」、昨年のような台風による災害、地震などの被災時直後の救助や、復旧に、「建設機械的な機能を有するロボット」、「人命救出ロボット」などがすばやく出現するには、まだ、時間がかかります。1日も早く、もっと多機能化、高度化することによって、人々の手近なところで役立つロボットの出現が多くなることを、日本人としては期待したいものです。

最後にご多忙中にも係わらず執筆頂きました方々に厚く御礼申し上げます。会員各位の皆様ならびに読者の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(夏原・西田)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

関 克己

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キヤタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克己	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

3月号「建設機械施工の安全対策特集」予告

- ・建設機械施工の安全施策の取組み
- ・建設機械による事故撲滅を目指して
- ・深度50m級のニューマチックケーソン施工における安全対策
- ・鋼・コンクリート複合アーチ橋工事における安全
- ・可燃性ガス噴出の可能性のある地盤でのシールドトンネルの安全対策
- ・碎石現場におけるホイールローダの安全管理
- ・大型重機土工における安全対策
- ・欧州における建設現場の安全衛生管理の現状

No.660 「建設の施工企画」 2005年2月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成17年2月20日印刷

平成17年2月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380